

新型コロナウイルス感染症対策の現状報告について

(令和4年8月29日以降)

1 感染の状況等

新型コロナウイルス感染症の第7波では、オミクロン株 BA.2 系統からオミクロン株 BA.5 系統への置き換わりにより、新規陽性者数は爆発的に増加しました。第7波が発生・拡大した要因として、厚生労働省の新型コロナ感染症対策アドバイザリーボードでは、次の点を挙げています。

- ・ BA.2 系統の流行から BA.5 系統が主流となり、概ね置き換わっている。BA.5 系統は、免疫逃避が懸念されるため、感染者数の増加要因となりえる。
- ・ ワクチンの3回目接種から一定期間が経過し、重症化予防効果に比較して感染予防効果はより減弱が進むことが明らかになっている。また感染により獲得した免疫についても、同様である。
- ・ 気温の上昇により屋内での活動が増える時期で、冷房を優先するため換気がされにくい場合もある等が考えられる。

第7波では確保病床への入院者の増加のみならず、確保病床以外の入院者の増加や診療・検査医療機関の外来受診がひっ迫した状況となるなど、医療体制への負荷はこれまでになく高まりました。

このような状況を踏まえ、長野県では「医療非常事態宣言」や「BA.5 対策強化宣言」の発出等に加え確保病床の増床、宿泊療養施設の増設、「みなし陽性（臨床診断）」の運用の開始、「若年軽症者登録センター」の設置等、医療提供体制負荷軽減のための対策を行っています。

一方、オミクロン株 BA.5 系統の特性や3回目以降のワクチン接種の効果等により、「中等症者」や「重症者」はこれまでの波より低い割合で推移しました。このため、暮らしと経済をできるだけ維持していくという観点で、会食やイベントなどの特定の場面を捉えての強い要請は行わず、一人ひとりの場面や状況に応じたメリハリある行動の呼びかけを行いました。

第7波は8月下旬をピークとして新規陽性者数も減少を始めましたがしばらく下げ止まりの状況が続きました。その間、国は旅行支援事業を開始、長野県も感染警戒レベルの基準の見直しを行い、できるだけ感染予防と社会経済活動の両立に向け取り組みを進めました。

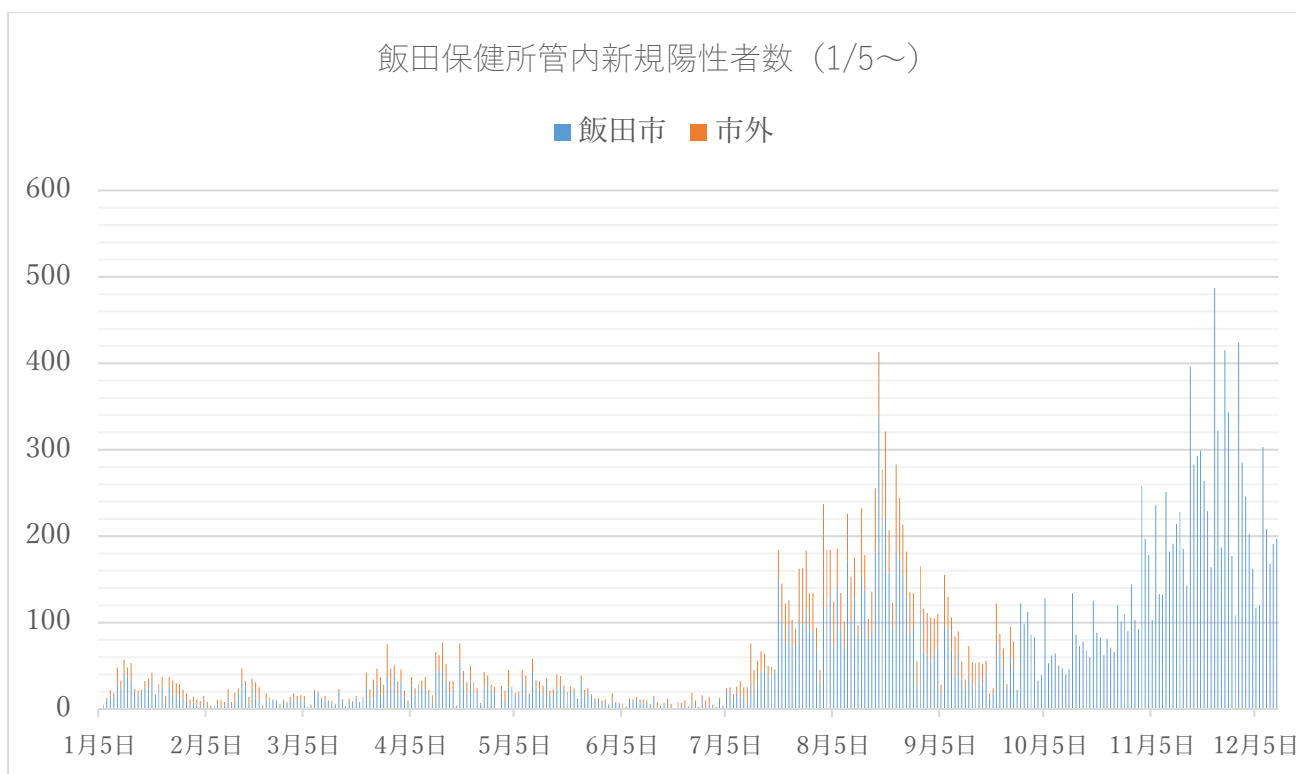
10月中旬には当圏域を含め県内で新規陽性者が再び増加に転じ、長野県は全国に比べ感染拡大が早く始まり、10万人あたり新規陽性者数が全国の中でも上位となる時期もありました。県は第8波の到来と捉え、11月4日に長野県全域に医療非常事態宣言を発出し、感染警戒レベルを最高の5としその状態が現在まで続いています。

第8波では県全体の病床使用率は上昇を続け、第7波のピークであった8/21の68.1%を越え、12/4に過去最高の70.8%となっています。当圏域でも1日における新規陽性者数（7波415人、8波424人）や1週間における10万人あたり新規陽性者数（7波1,163人、8波1,382人）、合計での新規陽性者数（7波10,774人、8波11,287人12/13現在）が、すでに第7波における最大値を超える数字を確認しています

今後は、置き換わりが進んでいるといわれる BQ.1 系統や XBB 系統などの新たな変異株の検出状況等を注視すると共に、季節性インフルエンザとの同時流行にも備えた体制の整備、ワクチン接種の

促進に全力で取り組み、医療ひっ迫を起こさないことが必要とされています。

なお、感染症法上の取り扱いに関する検討状況等、国の動向については引き続き注視していくこととします。

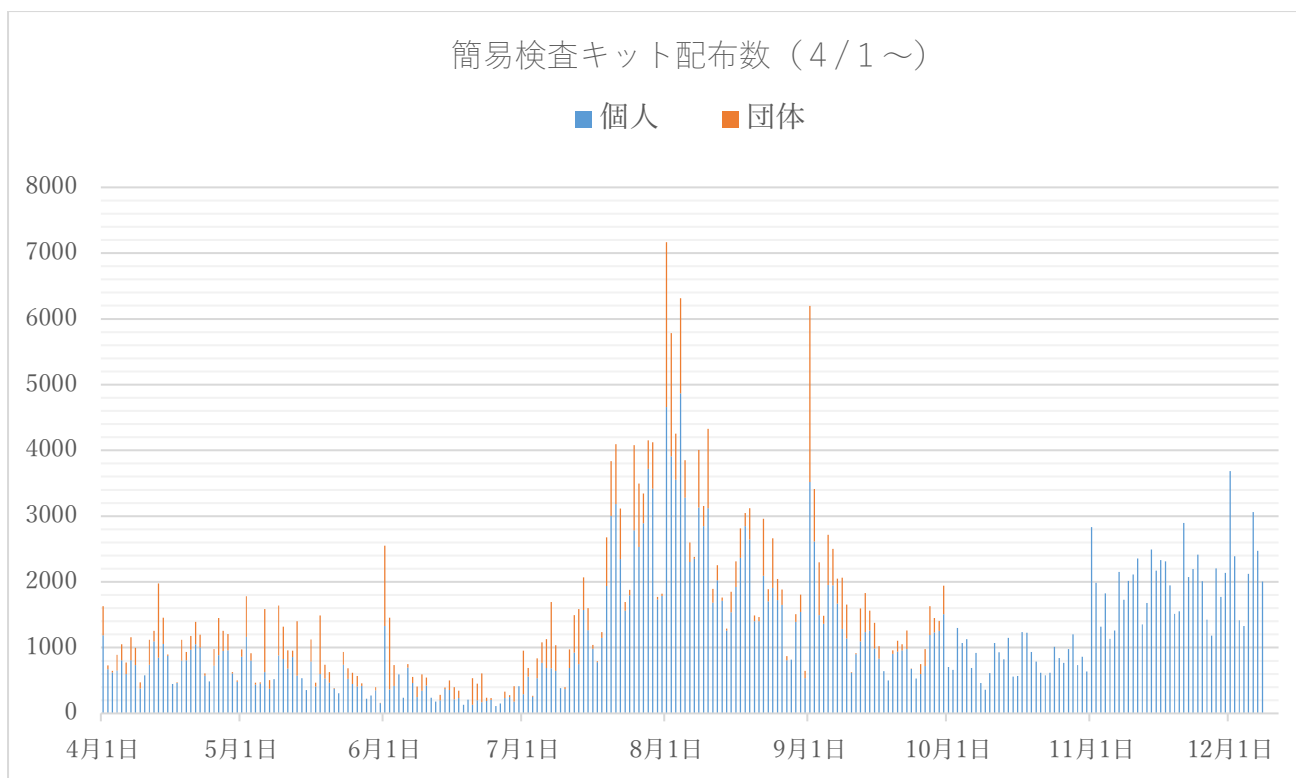


2 本部会議

- 第31回新型コロナウイルス感染症飯田市対策本部会議(10月20日：任意設置、通算47回目)
 - ・感染警戒レベルの引き上げによる市有施設の対応について協議・決定
- 第32回新型コロナウイルス感染症飯田市対策本部会議(10月28日：任意設置、通算48回目)
 - ・新型コロナウイルス感染症緊急対応事業(第15弾)について協議、決定
- 第33回新型コロナウイルス感染症飯田市対策本部会議(12月1日：任意設置、通算49回目)
 - ・新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行時における飯田市地域外来・検査センターの運営方法について協議、決定

3 感染対策

- 市有施設及び市主催の行事・イベント等の対応について
 - ・飯田市独自の制限を撤廃し、基本的に長野県の対応に準ずることとしました。
(令和4年10月20日改定)
例) 感染警戒レベル4～6における市有施設の利用を定員の半分以上としていた基準を撤廃
- 簡易検査キット配布事業の実施状況
 - ・通常配布
配布実績数：令和3年度からの通算652,158個(内令和4年度439,358個)



- ・簡易検査キット配布事業は年度当初、9月末で終了することとしていましたが、4月～9月の期間中に約313,000個（町村、学校、保育園、福祉施設等含む）を配布し、市民からの要望も多かったことから、感染状況を鑑みて10月以降も事業を継続することといたしました（ただし配布対象は、法人・団体向けを終了し、個人に限定）。
- ・10月中旬から新規陽性者数が増加傾向を示し、11月に入って長野県の感染警戒レベル5が発出されると申込数も増加し、1日に1,500～2,000個前後の申し込みが現在まで続いています。

○保育園などの状況（8月23日～12月12日）

- ・休園 45園中6園
- ・一部休園 のべ134園

○小中学校の状況（8月23日～12月13日）

- ・休校 なし
- ・学年・学級閉鎖 28校中23校のべ211学級

○児童クラブなどの状況（8月23日～12月13日）

- ・休所 24施設中9施設

5 事業者等への支援

○事前検査による安心な会食等の実施を支援

申請件数 384件 12,940個（検査キット配布、9月30日事業終了）

○市民の生活・経済活動を支える公共交通を維持するための交通事業者支援

支給件数 8事業者 32,956千円（12月13日現在）

○肥料価格高騰緊急対策事業補助金の交付による農家の経営基盤強化支援

支給件数 4件 255千円(12月13日現在)

○畜産経営継続支援事業補助金の交付による畜産事業者の経営継続支援

支給件数 55件 19,547千円(12月13日現在)

○宿泊施設燃料価格高騰対策事業補助金の交付による宿泊事業者の事業継続支援

支給件数 17件 16,195千円(12月13日現在)

○飯田市プレミアム電子商品券事業

販売枚数 53,976枚 額面総額 323,856千円(11月30日現在)

6 生活支援

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付

支給件数 82世帯 19,560千円(11月30日現在)

○住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付

支給件数 8,567件 856,700千円(11月30日現在)

○保育所等の副食費一部補助による子育て世帯支援

支給件数 49件 4,734千円(12月8日現在)

○学校給食費の一部補助による子育て世帯支援

支給件数 6団体 11,174千円(12月13日現在)

○校外活動延期への支援(修学旅行キャンセル料等補助)

支給件数 4校 2,338千円(12月13日現在)

7 ワクチン接種

○ワクチン接種数(11/29日現在 VRS登録値。分母は、令和4年1月1日現在飯田市人口 98,385人)

1回目接種 83,358人(84.7%)

2回目接種 82,985人(84.3%)

3回目接種 69,264人(70.4%)

4回目接種 43,696人(44.4%)

5回目接種 3,476人(3.5%)

上記(3回目接種以降)のうちオミクロン株対応ワクチンの接種 17,334人(17.6%)

○実施状況(令和4年12月16日現在)

■オミクロン株対応ワクチン(12歳以上)

- ・ 12歳以上の初回(1・2回目)接種完了者で、前回接種から3ヶ月以上経過した者が対象(ただし、オミクロン株対応ワクチンの接種は1回限り)

■小児接種(5歳~11歳)

- ・ 初回(1・2回目)接種完了後、5ヶ月以上経過した児に3回目接種を実施
- ・ 初回接種、3回目接種ともに、同じ小児用ワクチンにより実施

■乳幼児接種(生後6ヶ月~4歳)

- ・ 乳幼児用ワクチンにより接種
- ・ 初回接種において、3回の接種を行う

○接種会場

- ・ 集団接種会場（火～日で実施 年内は、金・土・日の接種時間を拡大して対応中）
- ・ 市内医療機関 43（個別接種は 12 月末で終了し、1 月からは集団接種会場に集約）
- ・ 小児・乳幼児接種医療機関 6
- ・ その他、長野県の接種会場（飯田合同庁舎）でも実施中

8 検査体制

○地域外来・検査センター実績（令和 4 年 9 月～令和 4 年 12 月）

| | 検体採取数（件） | 陽性数（件） |
|------|----------|--------|
| 9 月 | 217 | 84 |
| 10 月 | 184 | 65 |
| 11 月 | 328 | 167 |
| 12 月 | 84 | 44 |
| 合計 | 813 | 360 |

（令和 4 年 12 月 9 日現在）

9 広報体制（以下の広報媒体で市民へ注意喚起、啓発等）

- ・ You Tube、Facebook、飯田ケーブルテレビ、南信州新聞による市長メッセージ配信
- ・ You Tube、Twitter ほか広告媒体による感染拡大防止啓発広告の掲載
- ・ 市公式 web サイト（感染症専門ページ、市長メッセージ動画、地域外来・検査センター検査状況等）
- ・ インフルコロナ同時流行に係るチラシ作成、及び新聞広告（組合回覧、医療機関等に配布、12/1 日付南信州新聞に掲載）